

## ご存知ですか？資源物のゆくえ～プラスチック製容器包装のリサイクル～

普段、市民の皆様にご分別していただいている資源物がどのようにリサイクルされているかご存知でしょうか。今回は、プラスチック製容器包装がどこで、どのようにリサイクルされているのか、一例をご紹介します。

①集められた資源物



集められたプラスチック製容器包装は、浮島の資源化処理施設に運ばれます。平成26年度の収集量は、12,395トンにもなります。

②選別(異物を取り除く)



異物(紙類やプラスチック製容器包装以外のプラスチック製品、刃物などの危険物等)が混ざっていないか、作業員が手選別をしています。

③かたまりにしてしぼる



選別されたものは、圧縮し、かたまりにしていきます。これは「ベール」と呼ばれ、1つあたり約250kgの重さがあります。

プラスチック再生工場へ

⑤再製品化



ペレット等の原料は、再生工場ではプラスチックボード(写真)等に生まれ変わり、看板等様々な用途で使われます。

④ペレット等に加工



ペレット(写真)は、プラスチックを一度溶解し、3~5mm程度の粒状に加工した素材で、プラスチックを製品化する際の原料になります。



**再生工場に運ばれたベールは解体され、破碎、素材ごとに選別、洗浄といった工程を経て…**

## 蛍光灯の拠点回収にご協力ください！

家庭から出る使用済みの蛍光灯は、各生活環境事業所や区役所の「ごみ相談窓口」(川崎区役所・大師・田島支所を除く)に加え、次の施設でも回収していますので、ご利用ください。

回収拠点	所在地	備考
ヨネッティー堤根	川崎区堤根73-1	平成28年1月から
橘リサイクルコミュニティセンター	高津区新作1-20-3	
ヨネッティー王禅寺	麻生区王禅寺1321	平成28年4月から
王禅寺処理センター環境学習施設	麻生区王禅寺1285	

普通ごみの日にもこれまでどおりお出しいただけます。  
 その際には厚紙等に包み、「蛍光灯」と表示してお出しください。また、割れた蛍光灯は厚紙等に包み、「蛍光灯キケン」と表示して普通ごみの日にお出しください。

**編集後記** 先日あるコンビニエンスストアでスूपを購入したら、以前はふたとカップの隙間から中身が漏れた場合のために製品全体がラップフィルムで覆われていたのに、ふたとカップを組み合わせた部分だけを1周ぐるりとフィルムで覆う包装方法に変わっていました。こういった「エコ」につながる工夫が色々な製品に広がっていくといいなと思いました。(K)

編集・発行  
 〒210-8577(住所がなくても届きます)  
 川崎市環境局減量推進課普及広報係  
 電話:044(200)2580 FAX:044(200)3923  
 電子メール:30genryo@city.kawasaki.jp